

広報



特集
地域おこし協力隊

防火広報に行ってきます！

秋季火災予防運動に合わせ11月10日、初めてとなる1日分署長の委嘱が消防署大江分署でおこなわれました。選ばれた左沢小学校6年生の太田将平さん、公平直希さん、杉沼佳悟さんの3人は、消防自動車による防火広報や、同日開催された物産味覚まつりの来場者に住宅用火災警報器設置の指導をおこない、消防の大切さを呼びかけました。(15ページに関連記事)

平成25年

12

No.634



特集

地域おこし協力隊

この町に暮らし、この町のためにできること

地域おこし協力隊とは？

人口減少や高齢化などが進む市町村において、都市部の人材を積極的に受け入れ、新たな地域の担い手として、地域力の維持・強化を図っていくことを目的としています。

具体的には、地方自治体が都市住民を受入れ、地域おこし協力隊員として委嘱し、地域資源(観光・特産品)の発掘・振興や農林業の応援、地域行事への参加・支援、町の情報発信などの地域協力活動に従事していただきながら、地域への定住・定着を図っていくものです。

自分だからいっき気づく町の魅力

石坂さんは大学卒業後、地域おこし活動に興味を持ち、昨年、緑のふるさと協力隊(都市在住の若者を農山村に1年間派遣するプログラム)として初めて大江町に着任しました。当時は、慣れない農作業や方言を理解するのに苦労したといいます。

そんな中、仕事の合間にある手作りの漬物を囲んでのお茶飲みや他人に自分が作った旬の野菜を配る風習、家の電灯がついていないことで帰りを心配されたことなど、人との距離が近いことに大江町の魅力を感じたそうです。

「大江町の中で当たり前と考えられていたことが今の日本では貴重なことで、その価値観を形にして、町内外に発信していかなければならないと感じました」と石坂さんは話します。

大江町の魅力発見VTRの制作

大江町に着任して2年目をむかえた石坂さんは、柳川平区の空き家に引越し、活動の幅も緑のふるさと協力隊時の農作業から地域おこし全般に広がりました。

平日は町政策推進課に勤務しながら町内各地区でおこなわれるイベントや行事などへの参加、手伝いをおこなっています。また、今年から地元の消防団にも所属し、7月に発生した豪雨災害の復旧活動や8月に開催された西村山



大江町地域おこし協力隊
石坂 康平 さん (柳川平在住)

プロフィール

1989年 神奈川県横浜市で生まれる
2012年 明治大学卒業
// 大江町で緑のふるさと協力隊活動開始
2013年 大江町で地域おこし協力隊活動開始

日頃の生活の中に魅力があります

大江町に住み始めたころは、方言を理解するのに苦労しました。また、よい意味で私生活のことをたくさん聞かれ、アドバイスももらいました。私の出身地ではまず聞かれないので、なにか妙に暖かく感じたのを記憶しています。そういう意味で最初のころは“外国に来た”という印象を受けました。

都会では“今の生活”をするために必要なものは不自由しませんが、それに至るまでの営み（歴史）を感じ取ることができません。それに対して大江町は、自然と共にこれまで歩んできた営みが今でも分かり、私の目にはそれがとても魅力的に映りました。また、その魅力はイベントではなく常日頃の生活にあり、その場面を見ないと分からないとも感じました。これをどのようにしたら分かりやすく人に伝えられるか考えた時、VTRの制作が頭に浮かびました。制作には町や観光物産協会、町を盛り上げるために頑張っている町内の若者、主婦の方、左沢高校の生徒など多くの方から協力してもらいました。

地域おこしをする上で重要なことは、町の魅力を内外問わず多くの方から知ってもらうことだと思います。VTRを通して違った見方で町内を見てもらえれば、住んでいる町を知り、何か始めるきっかけにつながると考えています。奇抜なことではなく『当たり前』の中に魅力があり、これからの可能性も今あるものの中に眠っているのではないかと、この度の映画上映会を通じても感じました。「こういう取り組みもあるよ」「こういうこともできるのでは」などアイデアがあれば、ぜひお話を聞かせてください。

支部消防操法大会にも選手として参加しました。(※石坂さんの活動報告は大江町HPでご覧いただけます)

活動の中で特に力を入れたのが、これまで出会った町の魅力の一つにまとめたVTRの制作です。町内の若者たちと一緒に作り、約1か月の期間をかけて作ったVTRは、11月16日に行われた「人生、いろどり」の大江町上映会で同時上映されました。「人生、いろどり」とは、高齢化と過疎化の一途をたどる山村集落で、地域資源を有効に活用し一大ビジネスとして成功させた実話をもとにした映画。この映画と共に魅力発見VTRを観た約1,000人の来場客からは、大江町でも活用できる地域資源の可能性について改めて考えるきっかけになると前向きな感想を数多くいただきました。

このVTRは現在、インターネット動画サイトに投稿し、全国に向け発信されています。



▲11月16日に公開された、大江町の魅力発見VTR。現在インターネットの動画サイトや、町のホームページで見ることができる

町の魅力をさらに追及

石坂さんは今、昔の民具の使い方や柳川平区を舞台にした昔ながらの山の生活などを紹介するVTR制作など、町の魅力発信のための新たな取り組みを考えています。

また、町の昔の映像を記録したフィルムや写真などを探しています。心当たりがある方、もしくは昔の文化や現在の取り組みなどについて紹介していただける方は、左記までお気軽にご連絡ください。

※お問い合わせは、政策推進課政策推進係 ☎(62) 2118まで

石坂さんは、昨年「緑のふるさと協力隊」として、農作業に従事するなかで、自然と人が生み出す農産物の“ありがたさ”を十分に感じた一年だったと言います。今年は「地域おこし協力隊」として、地域の方々の生活に直接向き合うことで「地域おこしをしたい」という大きな夢をもって活動しています。今後石坂さんには町民の皆さんが地域を見つめ直すきっかけとなるような活動をしていただくことにしています。



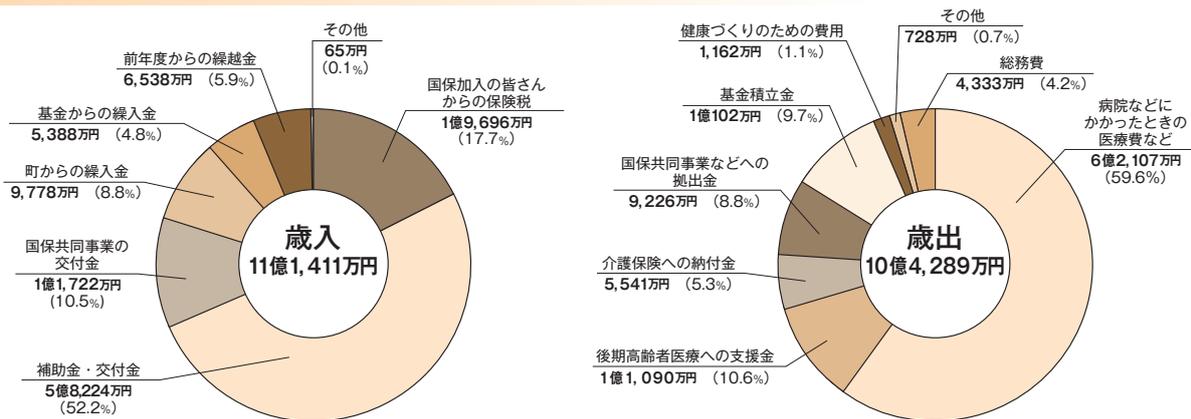
政策推進課長
佐竹 宗弘

平成24年度の 国民健康保険事業の 運営状況をお知らせします



国民健康保険は、病気やケガをしたときに安心して医療を受けることができるよう、加入者であるみなさんが国民健康保険税を出し合い、お互いを助け合う制度です。今回は、平成24年度の国民健康保険事業の運営状況をお知らせします。

1. 平成24年度国民健康保険特別会計決算の状況



平成24年度の決算は、歳入歳出差引では7,121万円の黒字（下表③）となり、前年度からの繰越金や翌年度精算金、基金の増減の影響を含めた実質的な収支も4,149万円の黒字（下表⑦）となりました。

歳入の総額は、11億1,411万円で、このうち17.7%にあたる1億9,696万円が加入者の皆さんからの保険税です。収納額は、昨年度に国保税率の改定が行われたことなどにより2,418万円増加しました。また、52.2%が国や県などからの補助金・交付金で、医療給付に対する国の負担金や65歳以上の方の加入割合によって各医療保険者間で財政調整する前期高齢者交付金、退職被保険者等の医療給付に充てる療養給付費等交付金など、9,893万円増の5億8,224万円となりました。

一方、歳出の総額は、10億4,289万円となりました。歳出に占める割合が最も大きいのが、病院などにかかったときの医療費で、歳出全体の59.6%となる6億2,107万円で前年度より4,599万円増加しました。また、後期高齢者医療への支援金は973万円増の1億1,090万円、介護保険への納付金は247万円増の5,541万円となっています。

近年、高齢化や医療技術の高度化などにより医療費が増加し実質単年度収支は赤字となっていました。が、国保被保険者のみなさんのご理解とご協力をいただき税率を改定させていただいたことにより黒字に転じ、年度末の基金残高は、前年度末と比べて4,714万円増加の1億2,662万円（下表⑧）となりました。

○決算額の推移

区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
① 歳入総額	9億6,220万円	9億2,919万円	8億8,632万円	9億8,935万円	11億1,411万円
② 歳出総額	8億8,475万円	8億7,469万円	8億1,244万円	9億2,398万円	10億4,289万円
③ 歳入歳出差引（①－②）	7,746万円	5,450万円	7,388万円	6,538万円	7,121万円
④ 翌年度精算額（交付・返還額）	△3,232万円	△10万円	△445万円	59万円	△1,089万円
⑤ 給付基金繰入額（取崩額）	△1,123万円	△3,516万円	△4,276万円	△7,454万円	△5,388万円
⑥ 給付基金積立額	3,291万円	3,930万円	141万円	5,365万円	1億102万円
⑦ 実質単年度収支（③～⑥合計－(前年の③+④)）	504万円	1,341万円	△2,634万円	△2,436万円	4,149万円
⑧ 給付基金残高（年度末）	1億3,760万円	1億4,174万円	1億38万円	7,948万円	1億2,662万円

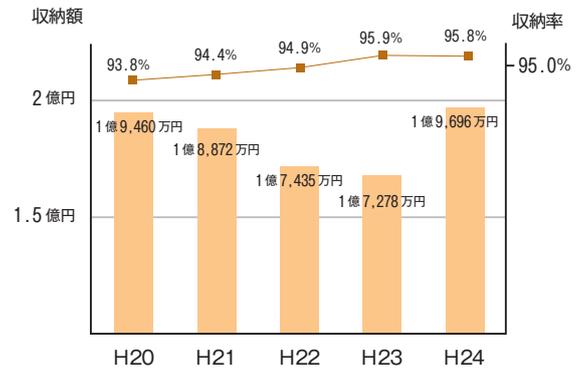
※表示単位四捨五入のため、金額の収支等が一致しない場合があります。

2. 国民健康保険税の収入状況

みなさんの医療費は、国民健康保険税などの収入をもとに医療機関に支払われています。

平成24年度に平成18年度以来6年ぶりに国民健康保険税の税率を上げさせていただきましたので、収入額が増加しました。

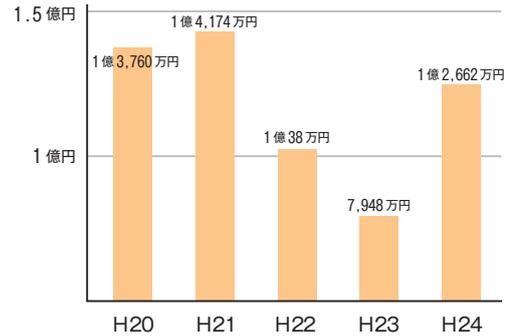
なお、収納率（調定額に対する収納額の割合）は、前年度より0.1ポイント減少の95.8%となりました。



3. 給付基金残高の推移

給付基金は、国民健康保険事業の安定的な運営のために積み立てをおこない、突発的な医療費の増加などが生じた場合に、歳入不足を一時的に補うためのものです。

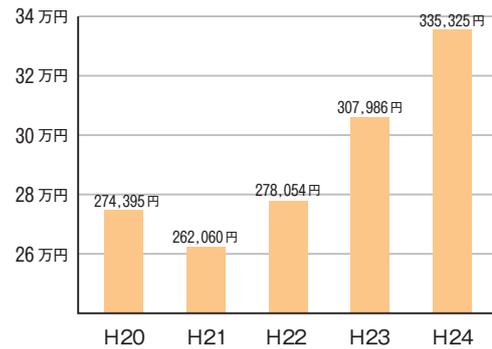
近年は事業運営のため取崩してきたため平成21年度をピークに残高の減少傾向が続いていましたが、平成24年度は税率改定の影響などにより1億2,662万円まで回復しました。



4. 1人あたりの医療費の推移

医療費は社会の高齢化や医療技術の進歩、生活習慣病などの慢性疾患の増加など、さまざまな理由で年々増加傾向にあり、この状況が続けば事業運営をさらに圧迫してしまうことになります。

健康診断や各種検診を積極的に利用して病気の予防や早期治療を心掛けるとともに、毎日の生活に運動・食事・休養をバランスよく取り入れて、日頃からの健康管理と健康づくりに心がけましょう。



『医療費のお知らせ』をお届けします

国民健康保険の加入世帯で、病院などで診療を受けられた世帯に『医療費のお知らせ』をお届けしています。

これは、国保加入の方が受診した医療機関や医療費の総額を確認していただくとともに、みなさんの健康管理に役立てていただくためお知らせしているものです。

健康づくりと健康管理には、日ごろから栄養・運動・休養をバランスよくとり、**年に1回**は特定健診（一日人間ドック・ミニドック）を受診して、**病気の早期発見・早期治療に役立てることが大切です。**

また、節目年齢対象者には個人負担金軽減クーポン券をお送りしています。ぜひご活用ください。

『ジェネリック医薬品利用促進のお知らせ』をお届けします

国民健康保険への加入者で、薬局等でお薬の処方を受けた方を対象に『ジェネリック医薬品利用促進のお知らせ』をお届けしています。

ジェネリック医薬品は、先発医薬品と同等の効能効果があると国が認めた後発医薬品です。

このお知らせによって、ジェネリック医薬品に切り替えなければいけないということではありませんが、ジェネリック医薬品を利用することで、**お薬代の家計負担が少なくなります。**

ジェネリック医薬品を希望される場合は医師、薬剤師にご相談ください。

町職員の給与等の状況をお知らせします

平成25年4月1日現在の町職員の給与等に関する状況について、町民のみなさんに広く理解していただくため、その内容をお知らせします。

1 任免および職員数に関する状況

(1) 部門別職員数の状況 (各年4月1日現在) (人)

部 門	職員数		増減	主な増減理由	
	25年度	24年度			
一般行政部門	議 会	1	1	0	
	総 務	27	27	0	
	税 務	7	7	0	
	民 生	17	17	0	
	衛 生	6	6	0	
	農林水産	12	12	0	
	商 工	4	3	1	業務内容増による増
	土 木	11	10	1	業務内容増による増
小 計	85	83	2		
教 育	22	23	▲ 1	施設の閉鎖による減	
会計企業部門等	水 道	2	2	0	
	下 水道	3	3	0	
	そ の 他	11	11	0	
	小 計	16	16	0	
合 計	123	122	1		

※職員数には、町長、副町長、教育長は含まれていません。

(2) 退職者数の状況 (人)

区分	24年度			23年度		
	定年	その他	計	定年	その他	計
人数	1	0	1	5	1	6

※その他には自己都合などによる退職を含みます。

(3) 職員採用の状況 (人)

区 分	24年度	23年度
行政職	8	3
管理栄養士	0	1

※行政職は上級及び初級です。

※管理栄養士は中級です。



2 職員の給与の状況

(1) 人件費の状況 (平成24年度普通会計決算) (千円)

住民基本台帳人口(25.3.31)	歳出額 (A)	実質収支	人件費 (B)	人件費率 (B/A)	平成23年度人件費率
9,127人	5,022,063	225,703	907,134	18.1%	18.7%

※人件費には常勤・非常勤特別職に支給される給料・報酬を含みます。

(2) 職員給与費の状況 (平成25年度普通会計予算) (千円)

職員数 (A)	給 与 費				1人あたり給与費 (B/A)
	給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 (B)	
110人	407,435	46,505	144,091	598,031	5,437

- ※1. 町長、副町長、教育長分を含みます。
- 2. 55歳を超える職員（行政職給料表6級）については、給料月額等を1.5%減額しています。
- 3. 職員手当には退職手当は含まれておりません。
- 4. 給与費は当初予算に計上された額です。

(3) 職員給与費の推移 (普通会計予算ベース) (百万円)



(4) 職員の平均給料月額、平均給与月額および平均年齢の状況 (円)

区分	一般行政職			技能労務職		
	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
町	292,200	320,600	39.8歳	310,700	327,500	48.1歳
国	307,220	376,257	43.1歳	272,119	309,534	49.9歳

- ※1. 給与は、給料および諸手当を含みます。
- 2. 平均年齢の整数は歳、小数はヶ月です。【例】43.1は43歳1ヶ月の意
- 3. 国の給与は臨時特例措置により平成24年4月から平成26年3月まで減額されています。

(5) 職員の初任給の状況

(円)

区分	町	国	
一般行政職	大学卒	172,200	172,200
	高校卒	140,100	140,100
技能労務職	高校卒	137,200	137,200

(6) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況 (円)

区分	経験年数 10-14年	経験年数 15-19年	経験年数 20-24年	
一般行政職	大学卒	245,500	309,100	361,100
	高校卒	202,000	278,100	314,100
技能労務職	高校卒	-	251,500	265,900

(7) 職員手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

区分	町			国		
	期末手当	勤勉手当	計	期末手当	勤勉手当	計
支給割合	2.7月分	1.25月分	3.95月分	2.6月分	1.35月分	3.95月分
加算措置	役職加算 5~15%			役職加算 5~20% 管理職加算10~25%		

イ 退職手当

区分	自己都合	勧奨・定年	
支給率	勤続20年	23.03月分	28.7875月分
	勤続25年	32.83月分	38.955月分
	勤続35年	46.55月分	55.86月分
	最高限度	55.86月分	55.86月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (2~20%加算)		

ウ 時間外勤務手当(普通会計)(千円)

区分	24年度	23年度
支給実績	14,270	12,248
1人あたり 平均支給年額	135	120

(8) ラスパイレス指数の状況

区分	24年度	23年度	22年度	21年度
町	102.8	95.0	93.7	93.1
県	108.7	100.0	100.1	100.4

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。大江町は、県内35市町村中、30番目となっています。

(9) 特別職の給料(報酬)などの状況

区分	給料など月額	期末手当	退職手当
給料	町長 738,000円 (820,000円)	減額前の給料(報酬)月額に40%を加算し、それに月数を乗じた額 <6月期> 1.375月分 <12月期> 1.625月分	給料月額×勤続月数×56.7/100
	副町長 608,000円 (640,000円)		給料月額×勤続月数×33.1/100
	教育長 557,750円 (575,000円)		給料月額×勤続月数×23.6/100
報酬	議長 320,000円	なし	
	副議長 270,000円		
	議員 255,000円		

- ※1. 給料欄の()内は、減額前の給料です。
- ※2. 退職手当支給時期は、退職時(任期満了を含む)に支給。

(10) 行政職の級別職員数の状況

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
6級	課長	9人	8.5%
5級	主幹/補佐	7人	6.6%
4級	主査	19人	17.9%
3級	係長	30人	28.3%
2級	主任	14人	13.2%
1級	主事	27人	25.5%
合計		106人	100.0%

- ※1. 職員数には町長、副町長、教育長及び技能労務職は含まれておりません。
- ※2. 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的なものです。

3 職員の勤務条件などの状況

(1) 勤務時間

1週間の勤務時間	開始時刻	終了時刻	休憩時間
38時間45分	午前8時30分	午後5時15分	午後0時~午後1時

- ※1. 税務町民課において、月曜日は窓口業務を午後6時30分まで延長しています。
- ※2. 平成22年4月1日より休憩時間を廃止し、1日の勤務時間を8時間から7時間45分に短縮しています。

(2) 職員研修の状況(平成24年度)

主催および研修内容	回数	受講者数
【村山地域市町職員研修】 新規採用、初級、JST	3回	13人
【市町村職員研修協議会】 法制、上級、課長研修など	12回	15人
【市町村アカデミー】 法令、政策企画 他	3回	3人

(3) 主な休暇制度

区分	期間	
年次有給休暇	1年につき20日付与(未取得日数分は、20日を上限に翌年へ繰越可能)	
病気休暇	90日以内(疾病の内容により、取得可能期間は異なります)	
特別休暇	結婚	7日以内
	女性職員の出産	産前8週間(多胎妊娠の場合は14週間) 産後8週間(産前分を加え10週間まで取得可能)
	生後1歳に達しない子の育児	1日に2回それぞれ30分以内の時間
	忌引き	配偶者10日、父母7日等、続柄に応じ連続する1日から10日以内

町では、みなさんに町の財政がどのように運営されているかを知っていただくため、年2回（上半期、下半期）定期的に財政状況をお知らせしています。

今回は、平成25年度上半期（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）についてお知らせします。



◆一般会計の予算額

(単位：千円)

当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予算現額
4,410,000	641,500	206,155	5,257,655

※補正予算の主なものは、健康温泉館改修事業や桶山公園災害復旧事業などです。

※前年度繰越額の主なものは、道路改良事業や町営住宅建設事業などです。

◆歳入内訳

(単位：千円、%)

区 分	予算現額	収入済額	割 合
町 税	776,476	434,881	56.0
町 民 税	333,867	176,496	52.9
固定資産税	355,066	200,330	56.4
軽自動車税	22,377	22,278	99.6
たばこ税	46,000	25,162	54.7
入 湯 税	525	265	50.5
都市計画税	18,641	10,350	55.5
使用料及び手数料	79,295	31,796	40.1
繰入金、繰越金、諸収入ほか	578,520	303,229	52.4
地方譲与税	58,500	17,343	29.6
地方消費税交付金	71,300	41,075	57.6
自動車取得税交付金ほか各種交付金	20,842	10,548	50.6
地方交付税	2,168,358	1,554,537	71.7
国・県支出金	826,564	169,323	20.5
町債（借入金）	677,800	0	0.0
合 計	5,257,655	2,562,732	48.7

◆歳出内訳

(単位：千円、%)

区 分	予算現額	支出済額	割 合
議 会 費	86,085	46,446	54.0
総 務 費	759,587	276,756	36.4
民 生 費	1,027,256	350,149	34.1
衛 生 費	249,128	97,047	39.0
農林水産業費	424,231	100,691	23.7
商 工 費	356,516	28,795	8.1
土 木 費	769,285	286,609	37.3
消 防 費	195,091	94,171	48.3
教 育 費	449,688	168,534	37.5
公 債 費 (借入金の返済)	642,367	319,385	49.7
そ の 他	298,421	30,459	10.2
合 計	5,257,655	1,799,042	34.2

※歳入内訳の中で、町税の調定額（納めていただくべき額）に対する割合は、52.9%です。

◆特別会計

(単位：千円、%)

会 計 名	予算現額	収入済額	割合	支出済額	割合
国民健康保険特別会計	973,276	442,137	45.4	370,997	38.1
後期高齢者医療特別会計	103,382	36,470	35.3	32,478	31.4
介護保険特別会計	974,671	406,158	41.7	401,883	41.2
宅地造成事業特別会計	36,462	9,682	26.6	140	0.4
簡易水道事業特別会計	10,350	3,953	38.2	854	8.3
公共下水道事業特別会計	272,706	138,041	50.6	103,110	37.8
農業集落排水事業特別会計	50,820	21,162	41.6	19,868	39.1

輝いて 今

様々な分野で活躍され、表彰された町民の方々を紹介いたします。



法務大臣表彰
高橋 五郎 さん (榎山)

高橋さんは、平成14年から約12年間、人権擁護員として地域に根ざした啓発活動の実施や、相談者の目線に立った対応に努めてこられました。今回これらの活動が、人権思想の普及高揚に貢献をしていると高く評価され、法務大臣賞が贈られました。

第33回全国中学生人権作文コンテスト 山形県大会 ※敬称略

寒河江協議会奨励賞

大 江中学校3年 石山圭亮

平成25年度山形県小学生

人権書道コンテスト ※敬称略

入選 左 沢小学校5年 鎌上誠也

寒河江協議会奨励賞

左 沢小学校5年 藤野真矢

本郷東小学校6年 柏倉ゆい

善意いただきました

このたび、高取直史さん（7区）よりまちづくりに役立ててほしいと、現金50万円の寄付をいただきました。いただいた現金は、今後まちづくりのために有効に活用させていただきます。

このたび、J A さがえ西村山および全国共済農業協同組合連合会山形県本部から、カーブミラー4基を寄贈していただきました。

この取り組みはJ A 共済の交通事故対策事業の一環としておこなわれているものです。大江町は昭和48年から寄贈いただき、今回で合計167基となりました。寄贈していただいたカーブ



ミラーは、地元の要望を踏まえながら、今後町内各所に設置する予定です。

◆町債(借入金)の状況

(単位：千円)

会 計 名	平成24年度末 残高	平成25年度 借入額(見込)	平成25年度 元金返済額(見込)	平成25年度末 残高(見込)
一 般 会 計	4,792,014	677,800	574,257	4,895,557
簡易水道事業特別会計	2,253		299	1,954
公共下水道事業特別会計	2,311,656	38,800	119,007	2,231,449
農業集落排水事業特別会計	314,551		19,999	294,552
水道事業会計	675,103	95,900	37,720	733,283
合 計	8,095,577	812,500	751,282	8,156,795

◆水道事業会計

(単位：千円、%)

区 分	予算現額	収入(支出)済額	割合
収益的収入	246,695	115,378	46.8
資本的収入	143,600	0	0.0
収益的支出	246,695	66,398	26.9
資本的支出	264,970	48,753	18.4

◆町の財産状況

土 地	1,444,716㎡
建 物 (延床面積)	58,772㎡
道路(町道)・橋りょうの延長	189,592 m
車 輛	80台
有価証券など	7,733万円
積立金(基金)	20億2,630万円
温泉権(4件)	3億4,693万円

※すべての会計の合計。車輛には、除雪車や消防自動車、小型動力ポンプなども含まれています。

平成25年度 第44回

大江町文化祭



お茶会



協賛事業

お茶会：11月3日、中央公民館2階では淡由会（兼子社中）と淡碩会（小野社中）によるお茶会が開かれ、参加者は花や掛け軸などの演出を楽しみながら、風味豊かなお茶と景観をモチーフにした大江ならではの菓子を楽しめました。

協賛事業：10月20日文化祭に来てくれる方を花で迎えようと、大江町芸術文化団体協議会の役員の方々が花壇やプランターに花を植栽しました。また、11月3日の「伝統食のつどい」では、歴史民俗資料館サポーターの手作りによる青芋もち御膳を味わうことができました。

町の芸術・文化・芸能を一堂に楽しむことができる第44回大江町文化祭が、11月2日から4日まで3日間の日程で開催されました。会場には、町内の各愛好家の皆さんが心をこめて作成した作品の展示や、これまで練習してきた芸能が披露され、訪れた方は大江町ならではの文化に浸りながら楽しい一時を過ごしていました。

展示の部作品：盆栽、掛軸、写真、書道、つる細工、絵画、図画、工作、生け花、魚拓、和紙人形、版画、木目込み、陶芸作品ほか

ステージの部出演団体：左沢小学校ブラスバンドクラブ、観世流能楽松本会、おおえ昔語りの会、藤間流藤好会、大江剣聖会、大江女声コーラス、佐藤和雄ハーモニカ演奏、混声合唱団ECHO、おおえ舟唄太鼓の会、貫見民謡会、民謡秀風会、大江歌謡会、しげるちゃんバンド

展示の部



大江の文化、 花開く



ステージ
の部



■彩る秋の大江で濃い恋♪～大江町コン2013～

さがえ西村山農協青年部大江支部が主催する婚活イベントが10月26日、町内果樹園や柳川温泉を会場に開催されました。当日は県内外から男性17名、女性16名が参加。スモモの収穫体験や新米の品種当てゲームなど、農協青年部らしい特色豊かなイベントで参加者同士の親睦を深めました。中でも今回収穫させていただいたスモモは、愛李（ラブリー）という新品种のもの。その名のとおり実が赤く甘～いスモモで、まさしく恋する男女にぴったり！イベントの最後には2組のカップルが誕生し、また大江町に来たくなる素敵なプレゼントが贈呈されました。

農協青年部にとっては今回初めての婚活イベント実施でしたが、後継者不足解消と地域活性化のため、今後も事業を展開していきたいと前向きな様子が印象的でした。



※参加者の方々のプライバシーに配慮し、写真の一部を加工処理しておりますので、ご了承ください。



■限定商品券、好評のうちに終了～期間限定プレミアム付商品券～

町内商店の商品を実質2割安く購入できる、期間限定プレミアム付き商品券の最後の販売が11月3日、交流ステーションで開催されました。

この商品券は、大江町商工会の会員商店で使用可能な500円商品券24枚セット（1万2,000円相当）を2割も安い1万円で購入できるというものです。年末年始時の町内商店の売り上げ拡大を目的に、使用期限は1月31日までとなっています。販売当日は、朝から多くの人が交流ステーション前に列を作り、午後には完売する盛況ぶりでした。

期間限定プレミアム商品券は、町の補助をもとに平成21年から合計8回販売され、今回を含めるとこれまでに約1億8000万円相当が販売されました。町と商工会では今後も新たな商業振興策を検討していきます。

■地域活動の拠点、着工～美郷地区コミュニティセンター地鎮祭～

林業の振興を目的としたさまざまな活動の拠点となる美郷地区コミュニティセンターの建設が始まり、着工にかかる地鎮祭が、11月7日におこなわれました。

このコミュニティセンターは、地元産の西山杉をふんだんに使用しつつ、落とし込み板壁など大江の匠の業を駆使して建てられます。木造平屋102平方メートル内には、吹き抜けのメインホールや小ホール、ウッドデッキ、調理室、パレットストープなどが設置される予定です。

地鎮祭に出席した石澤六男美郷区長は「コミュニティセンターは地区民も利用させてもらえるため、建設することが決まるととてもうれしい。完成が待ち遠しいですね」と笑顔で話してくれました。

コミュニティセンターは12月中旬ごろ上棟式がおこなわれ、来年3月に完成する予定です。





■ぜひ、大江町で農業を ～大江町OSINの会現地見学会&報告会～

町内の就農促進を図るため積極的に活動を行っている大江町就農研修生受入協議会（OSINの会）が11月9日、今年2回目となる現地見学会をおこないました。

現地見学会には、今年9月に東京で開催された新農業人フェア時、大江町の農業に興味を持ってくれた3名が参加。実際に研修生を受け入れている、町内の山川正信さん（蛭水）のトマトハウス、鈴木伸治さん（荻野）の農作物加工所、渡辺誠一さん（塩野平）のスモモ畑と原木しいたけ・なめこ栽培を見学しました。見学会終了後には、現在町内で就農研修を受けている方の活動報告会もおこなわれ、参加した3名からは経営方法や具体的な研修内容など、新規就農についてさまざまな質問が出されていました。

このほか、懇親会や農家への民泊、おおえの物産味覚まつりの見学など、大江町での就農促進にむけて積極的な活動がおこなわれました。

■秋の味覚勢ぞろい～おおえの物産味覚まつり～

町の物産や秋の味覚が集うおおえの物産味覚まつりが11月10日、体育センターで開催されました。

会場には町内産のりんごやラフランスをはじめ、今が旬の農産物や町内各組合、商店自慢の特産品が勢ぞろいしました。

J A大江営農センターブースでは、町内農家から出展された自慢のりんごの品評会がおこなわれ、訪れた人はその色や艶に感動しながら、即売コーナーで次々と買い求めていました。また、宮城県亘理町観光協会のイクラと鮭がたっぷり入った“はらこめし”や、大江町菓子組合の物産味覚まつり限定ジャンボシュークリームも販売され、販売開始後にすぐに売り切れるほどの人気でした。

この他、餅の無料配布やお楽しみ抽選会、ダンボール迷路、各種イベントなどもおこなわれ、会場を訪れた方は楽しい時間を過ごしていました。



▲旬のりんごが並ぶ即売会

大人気のまつり限定ジャンボシュークリーム▶



◆株式会社山形テレビホームページ

→ <http://www.yts.co.jp/>

■大海牛プクちゃん参上!! ～第14回山形ふるさとCM大賞～

県内各市町村自慢のユニークなCMが一堂に会する、第14回山形ふるさとCM大賞の公開審査会が11月12日、山形市の山形テルサで開催されました。

大江町が作成したCMのタイトルは“大海牛プクちゃん参上!!”。プクちゃんのお愛称で知られるヤマガタダイカイギュウが重要文化的景観である原町に現れ、町をPRするという内容です。惜しくも入賞を逃しましたが、かわいらしいプクちゃんのお笑顔が印象的なCMとなっています。(株)山形テレビのホームページで公開されていますのでぜひご覧ください。

10/27 思い思いの衣装で楽しい一時

～おおえハロウィンパーティー2013～

国際性豊かな人材の育成を目指して活動しているおおえ国際交流協会主催のもと、おおえハロウィンパーティー2013が10月27日に開催され、魔女やお化け、怪物などに扮した小学生を中心に約120人を超える参加者が集まりました。

パーティーでは始めに国際交流員のデレックさんから、アメリカでのハロウィンの様子や由来についての話がありました。続いて、子どもたちが「トリックオアトリート！（お菓子をくれなきゃ、いたずらするぞ）」と言いながら会場を巡り、あめやチョコなどのお菓子をもらいました。

このほか、糸につるしたリンゴを口だけを使って取る“スウィングアップル”やダーツで風船を割るゲームなど、さまざまなハロウィングームがおこなわれ、参加した子どもたちは楽しい一時を過ごしていました。



▲スウィングアップル

トリックオアトリート！を合言葉に会場を巡りました▶



10/28 ぐるぐるバウムクーヘン作りに挑戦

～ドキドキ自然体験塾～

山や川を舞台にさまざまな野外活動を体験するドキドキ自然体験塾が10月28日、大山自然公園で開催され、町内小学生30名が参加しました。

子どもたちは、森の中に巧みに隠された人形や鏡などを見つけるネイチャーゲーム「ミッケ！」でお互いに打ち解けた後、バウムクーヘン作りに挑戦しました。ホットケーキミックスで作った生地を山から採ってきた竹の棒に薄く塗り、炭火の上でぐるぐる回しながら重ね焼きをしていく作業では、子どもたちは焼き方や生地の塗り加減に気を付けながら、互いに協力して円筒状に焼き上げていきました。

バウムクーヘンの仕上がり具合について聞いたところ「外はカリカリ、中はふっくら焼けた。みんなと協力してお店で売っている物よりおいしくできた」とうれしそうに話してくれました。

11/1 節目を祝い、決意新たに

～左沢小学校創立140周年を祝う会～

左沢小学校の創立140周年を祝う会が11月1日、同校の体育館でおこなわれました。

左沢小学校は明治6年、地元住民から支援を受け西村山郡で最も早く設置されたことから「第1番左沢学校」と呼ばれ、昭和22年からの卒業生だけでも6,650名を数える学校です。

会では、芳賀校長先生からの話やアトラクションとして5年生による「左小はやせ太鼓」が披露され、140年の節目を祝いました。児童代表の海野隼斗さんはあいさつで「今年左沢小学校は140周年をむかえましたが、学校の歴史は来年再来年とずっと続いていきます。これからもみんなの笑顔輝く一番学校であり続けるためにも先輩が築いてくださった伝統を引き継ぎ、しっかり後輩に伝えていきたい」とこれからの学校生活について決意を新たにしました。



▲左小はやせ太鼓の披露

児童代表の海野隼斗さん▶





▲アンコールでは会場の皆さんと一緒に「花は咲く」を熱唱

◀佐藤さんと相澤さんが猫に扮する、ゆかいな一幕もありました

11/2 やさしい歌声でホッとひといき

～トリオ・グラシアコンサート～

県内外で数多くの音楽活動をおこなっているトリオ・グラシアが11月2日、ふれあい会館でコンサートを開催しました。

トリオ・グラシアのメンバーはソプラノの佐藤美喜子さん（8区）、チェロの鈴木信哉さん、ピアノの鈴木布美子さんの3名。グラシアはスペイン語で「恵み」を意味します。当日はメンバー以外に、テノールの相澤伸彦さん、フルートの菅紀子さんを招いての開催となりました。

コンサートのテーマは“ホッとひといき”で、忙しい毎日をおくる中で音楽を通じてリラックスする時間を過ごしてもらおうというものです。会場ではクラシック音楽や「紅葉」「赤とんぼ」といった童謡などが5人の豊かな表現力で披露され、観客からは大きな拍手がおくられました。

11/10 消防の大切さを体験しました

～1日消防署大江分署長体験～

消防署の役割について理解を深めてもらおうと11月10日、消防署大江分署で町内小学生3名が1日大江分署長に委嘱されました。

委嘱されたのは、左沢小学校6年生の太田将平さん、公平直希さん、杉沼圭悟さんです。3人は消防署の役割や住宅用火災警報器の説明を聞いた後、消防車の点検、巡回防火広報、同日開催された物産味覚まつり会場内で、防火と住宅用火災警報器設置の街頭指導などの業務を体験しました。

1日分署長を体験して3人は「消防署の仕事や、火災警報器をしっかりとつけないと火事になった時に危険であること知りました。今回体験したことを友だちにも教え消防活動の大切さを広めたいです」と話してくれました。



▲3区間の金子茂さんから4区間古澤哲平さんへ（中央公民館前）

11/10 地元の声援を力に走りきる

～第60回西村山地区駅伝競走大会～

西村山地方の各市町がタスキをつなぐ、第60回西村山地区駅伝競走大会が11月10日に開催されました。今大会は朝日町創遊館をスタートし寒河江市市民体育館前までの8区間63.7kmをコースにおこなわれ、西村山管内1市4町から10チーム、本町からは2チームが参加しました。当日は小雨が降るあいにくの天気でしたが、両チームとも沿道の声援に応える見事な走りを見せてくれました。

《大会結果》 優勝／寒河江 A … 3時間30分48秒
4位／大 江 A … 3時間37分51秒
8位／大 江 B … 3時間59分07秒

《大江チーム出場ランナー》

- A 1区間…佐藤和也／2区間…公平和輝／3区間…金子 茂
4区間…古澤哲平／5区間…大沼玄樹／6区間…佐藤 完
7区間…菊地春紀／8区間…清野大地
- B 1区間…斎藤勇介／2区間…鈴木皓樹／3区間…柏倉旬平
4区間…佐竹 隆／5区間…鈴木俊郎／6区間…長谷川慎吾
7区間…西田達也／8区間…大沼敬浩

町長 コラム Column

熊を見たというニュースが今年には少ない。朝日の山の「田舎暮らし」の方が「都会暮らし」より素晴らしいと思いついたからだろうか。どこで暮らすか、川

山、海、駅の近く：暮らす場所の決め方は、熊にも、近頃特に人にも悩ましい。

毎日が田舎のお祭りのように人があふれる東京の人々の食べ物は、田舎で作られる物が多い。東京には同級生も居る、親戚も多い、だから一生懸命に美味しい食べ物「命の元」を届け、更には「電気の元」を設置し電気を送る福島の方々は、東京の最高の親友だ。

「雑草が家を飲み込み、巨大なクマネズミが暴れ、入るのが嫌なほどわが家は汚れきっていた」と原発の町の人に聞かされた。原発は田舎を破壊させ「命の元」も「電気の元」も消した。東京の親友、福島が苦しんでいる。格言は言う「まさかの友は真の友」だ。

「田舎暮らし」が、日本を支えているとは言わないが、健康で今日も明日も田舎暮らし、都会もまた良しの人生「口ハス」は、朝もやに映るか消えるか。原発200m圏内は余りにも重たい。

大江町長 渡邊 兵吾

左澤重要文化的景観

シリーズ企画 町の魅力発見！ vol.08

原町の十字路、斎藤茂吉歌碑に隣接する形でヤマト二菊地商店が建っています。明治30年頃、下北山の山ト菊地家から原町に分家し、その時山トの2番目を意味する“ヤマト二”の屋号を拝命しました。分家した当時は商店を営んでおり、酒田にある総本家支店との間で米や塩、肥料、生糸などを取引していたといわれています。

家屋は明治末期に建てられたもので、切妻造2階建て、4段にも重なる太い梁で構成された重厚な造りとなっています。原町通りに面したところに倉庫と店舗スペースがあり、倉庫の場所には当初蔵が建っていました。敷地内の中央に家屋が、左奥に土蔵と右手前に庭がそれぞれ配置されており、長い黒塗りの板塀や周囲の植栽とも相まって昔ながらの奥の深い屋敷を見ることができます。

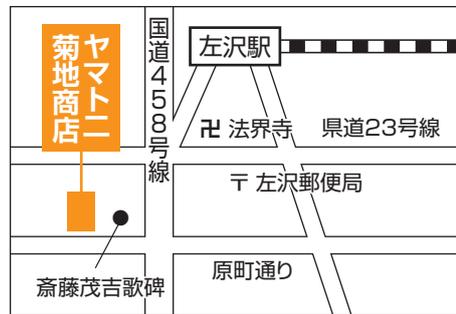
蔵が建っていた頃の菊地商店▶



ヤマト二菊地商店



簡易マップ



ALT通信 マットの おおえ生活 No.35

★このコーナーでは、小見在住のALT（外国語指導助手）マットさんが、日常生活で感じたことなどを伝えます。

Hello everyone! As many of you know I read a lot of books. On average I read about 13~16 books a year. Most of the books I read are about technology, business and education. Over the last few months I've read several books about a business philosophy that is overtaking the American. This philosophy is called "Lean" which is an adjective that means "efficient and with no waste". The interesting part of this philosophy is that it originated from Japan! The concept was derived from Toyota Production System which allowed Toyota to become the world's largest automaker. Toyota's manufacturing practices are now being applied to all areas of business. The point here is that cultural exchange is more than speaking good English or eating hamburgers. Learning new ideas and bringing them home to enrich the lives of people in your local community is the truly important part of cultural exchange.

こんにちは。皆さんが知っていると思いますが、私はたくさんの本を読みます。一年間に13~16冊を読みます。本のテーマは、テクノロジーやビジネス、教育などです。数か月前から、アメリカに広がっているビジネス理論について何冊かを読みました。その理論は「Lean」と言います。「Lean」の意味は「無駄なく能率的」な感じですが、一番面白いところはこの理論が日本からきたということです。この考え方は、トヨタ自動車株式会社を世界一の自動車メーカーにしたトヨタ生産方式からきました。アメリカで「Lean」の考え方は車作り以外にも様々な会社に使われています。なぜこの話を選んだかという、国際交流では、英語の勉強やアメリカン・ハンバーガーを食べることだけではなく、新しい考え方を学んでふるさとに持ち帰り、皆さんの人生を前より少しでも幸せになるようにすることが大事なことだと思うからです。



みんなに喜んでもらえる料理を

鈴木 沙織さん (22歳・若原)

「おじいちゃん、おばあちゃんから『料理おいしかった』と言ってもらえるのがうれしいですね」と話す鈴木さん、現在は山形市内にある特別養護老人ホームで栄養士の仕事をしています。

社会人2年目ながら、現場責任者としての他の職員の指導をおこないつつ、献立を考え、自身も調理するなど1人で何役もこなす忙しい毎日をおくっています。日々の楽しみは長い通勤距離を利用し、車の中で音楽を聞くことだそうです。お気に入りの曲は友だちから勧められた「May J」とのこと。

高校では調理師の勉強をしていましたが、学んでいる内に自分で考えた献立で料理を作りたいと思うようになり、短期大学に進学後は調理師、栄養士、フードスペシャリスト、栄養教諭免許の資格を取得しました。

「コミュニケーションが大事だと思っています。たくさんの人から意見を聞いて、より多くの人から『おいしいね』と言ってもらえる料理を作りたいですね」と笑顔で今後の目標を話してくれました。



Youthful
★ トーク ★

● 短歌 ●

枯葉舞う慈恩寺詣で感慨無量しばし佇み歴史を偲ぶ
山並の白衣眩し雪来るか残り菜採りに猫戯し揺れる
山々の紅葉うるはし季節を迎へ菊つむ手にぞ露のつめたさ
卒寿の母の住む家雪囲い子や孫やしゃご玄孫手伝い笑顔
月山や朝日の岳は雪化粧吾らが里にもまもなく雪が
姉は逝く頂き戒名輝きて鏡の如し浄土なるらん
耳遠くなりてなんだか解らぬがみなが笑えば私も笑う
赤とんぼすくなくなりし里の空を軍用飛行機音もなく飛ぶ

菅井 妙子
菊地つねよ
堀 トヨエ
長岡かづ子
佐竹 麗子
佐竹 與鼓
伊藤 和子
斎藤 徳治

● 俳句 ●

苔むせし庭に秋雨里恋し
初雪や山のもみじもにがい顔
木枯しや行くあてもなくみぎひだり
鮎まつり昇る煙が大漁の匂い
菊の宿花芯に聞こゆ望郷歌
神の留守未だ買はざる宝くじ
美味もん祭り終りし冬めきぬ
最上川紅葉且つ散る泊り舟

菅井 妙子
林 忠逸
今井 茂樹
鴨田富士夫
秋元喜一郎
熊谷 勉
舟山 三男
伊藤 啓泉

吟遊浪漫

ぎんゆうろまん

1月号の吟遊浪漫コーナーはお休みさせていただきます。
2月号に掲載ご希望の方は、1月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。

お知らせ

Information

スクールバスの年末年始運休のお知らせ

年末年始（12月29日～1月3日）は、スクールバスを運休します。

※お問い合わせは、教育文化課学校教育係 ☎(62)2270まで

大江錦「初しぼり」好評発売中！

毎年好評の大江錦「初しぼり」。今年は、12月10日から発売しています。ぜひ、ご賞味ください。

◆発売場所／町内酒販店



「高齢者等安心生活課題調査」にご協力ください。

地域における高齢者の課題やニーズを把握し、それらに応じた次期介

護保険事業計画の策定や今後の町の高齢者福祉に関する施策などを検討するため、標記の調査を実施します。

◆対象者／12月1日時点において、65歳以上の方（施設入所者除く）

◆実施期間／12月12日（木）～12月25日（水）まで

◆実施方法／調査票が郵送されますので、記入のうえ、期限までに返信用封筒にて投函、または健康福祉課まで持参願います

※お問い合わせは、健康福祉課福祉係 ☎(62)2285まで

「ふるさと奨学ローン」と「生活応援ローン」をご利用ください

【ふるさと奨学ローン】

人材育成と県内への就職促進のための教育ローンです。就学終了後に県内に就職または就業した場合は、それ以降の利子に対して、元金200万円を限度に、教育基金協会から、年1.0%の利子補給を受けることができます。

◆対象／大学・短大・高校・各種専門学校への学資金および生活資金

◆融資限度額／最高1,000万円

◆融資利率／年2.50%～3.65%（固定金利、保証料込）

※平成26年3月末日までに申し込み

除雪に関する協力のお願い



- ①早朝除雪作業の効率を高めるため、道路上には駐車しないでください。
- ②除排雪時における堆雪場は、各区においてあらかじめ確保をお願いします。
- ③屋根から降ろした雪や玄関先を掃いた雪を道路（消雪道路を含む）に出さないでください。
- ④田や畑には、砂利などが入らないよう特に注意して除雪作業をおこないますが、融雪後の砂利拾いなどにつきましては、関係区で対応ください。
- ⑤万一除雪作業による工作物等の破損があった場合は、区長を通じて建設水道課（管理係）に連絡してください。なお、除雪の際に障害となる工作物は事前に撤去するか、目印などを設置するようご協力をお願いします。
- ⑥除雪作業は、機械と人員をフル稼働させる体制を整えていますが、降雪量の多い日は、ご要望全てにはお応え出来ない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ⑦除雪作業時は、天候の状態や機械の騒音などで周囲の状況がつかみにくくなり、危険ですので除雪車には近づかないようお願いします。
- ⑧急勾配などの危険な箇所には融雪剤を設置しますので、散布についてご協力をお願いします。

※お問い合わせは、建設水道課管理係 ☎(62)2116まで

を受付し、実行する融資が対象となります

◆返済期間／最長10年

※特約期間（在学期間のうち最長6年間）の返済期間を含みます

◆保証／労働金庫指定の保証機関の保証が必要です

【生活応援ローン】

会社や商店に1年以上お勤めの方で、労働組合がなく、または職場に融資制度のない方のために、町と労働金庫が協力して低利で融資する制度です。

◆融資限度額／200万円以内

◆融資利率／年2.60%（固定金利、保証料込）

利。保証料込）

特定健診・がん検診を 受診しましょう!

生活習慣病は、自覚症状がなく進行します。放っておけば大きな病気につながる恐れがあります。自分のため、家族のために年1回は健診を受けましょう。

なお、今年度の健診日程は残りわずかとなっていますので、まだ受診していない方はぜひ受診してください。

節目の年齢の方にお送りしている「がん検診無料クーポン券」「肝炎ウイルス検診無料の案内書」「国保個人負担金軽減クーポン券」をお持ちの方は申込期限・利用期限を確認のうえ、この機会にぜひご利用ください。

【今後の健診日程】※40歳以上

◆1日人間ドック/12月27日(金)

検診内容 特定健診、各種がん検診(胃・大腸・肺・前立腺・乳がん・子宮頸がん)、肝炎ウイルス検診他

◆ミニドック/平成26年1月23日(休)

検診内容 特定健診、各種がん検診(胃・大腸・肺・前立腺がん)、肝炎ウイルス検診

※健診の新規申込、受診日の変更、受診方法などのお問い合わせは、健康福祉課保健衛生係 ☎(62)2114まで

山形大学医学部付属病院肝疾患 相談室のご案内

肝炎・肝硬変・肝がんなど、肝臓の病気で悩みの患者さんやそのご家族からのあらゆる相談にお答えします。肝疾患に関する医療情報の提供、専門医療機関の紹介など無料で対応します。

◆返済期間/7年
◆保証/労働金庫指定の保証機関の保証が必要です
※お問い合わせは、東北労働金庫寒河江支店 ☎(86)2210まで

また、相談内容に応じて医師の面談(予約制)をおこなっています。どうぞお気軽にご相談ください。

◆電話相談受付/毎週月・木曜日 13時~16時 ☎023-628-5881

◆医師面談/

毎週月曜日 9時~12時(予約制)

※お問い合わせは、山形大学医学部付属病院肝疾患相談室 ☎023-628-5159まで

林業退職金共済制度(林退共)からのお知らせ

林業の仕事をしていたことはありませんか。

ませんか。林退共制度に加入していた方で、まだ退職金を受け取っていない方を探しています。以前、林業の仕事をしてきたが、自身が林退共へ加入していたか分からない方についても、こちらでお調べします。

また、罹災された共済契約者および被共済者の皆さまに対し、各種手続き(共済手帳の紛失、退職金の請求など)の必要が生じた場合はできる限り速やかに対応したいと思っておりますので、最寄りの支部または本部へお問い合わせください。

※お問い合わせは、勤労者退職金共済機構林業退職金共済事業本部 ☎03-6731-2887まで

労働保険の加入手続きはお済ですか?

労働保険とは、労災保険と雇用保険の総称で、労働者を1人でも雇用している事業主は加入する義務があります。

労働保険は、労働者が業務上や通勤途中で被災した場合の保険給付や失業した場合に支給する保険給付をおこなうもので、職場の安全、雇用の安定を図るために重要な役割を果たしています。

社員、従業員、アルバイトなど1

人でも雇っていただければ、今すぐ、労働保険に加入しましょう。

※お問い合わせは、山形労働局労働保険徴収室 ☎023-624-8225まで



編集

後記

も見せようと家に帰ったら、すでに父が撮影し印刷して台所の壁に貼っていました。「親子だな」と感じた瞬間でした。

(山家雄志)

小さい頃、父から美術館に連れて行かれた時「美術品を簡単に楽しむ方法は、展示されている作品の中からどれか一つ無料でもらえたとすればどれをもらうか」の視点で見るといい」と教わりました。誤解を与えそうな半面、非常に分かりやすい考え方だったため、今でもはつきりと覚えています。それ以来私は展示作品を見る時、そのような考え方でも見ることにしています。11月2日から4日まで開催された文化祭の展示コーナーでは、もちろんもらえるわけなので、代りに写真を撮って満足していました。撮影した作品の中でも「世の中で一番楽しく立派な事は生涯を貫く仕事を持つという事です」ではじまる、福沢諭吉「心訓」(実際は作者不明)は一訓一訓が心に響き、写真を撮り家族にも見せようと家に帰ったら、すでに父が撮影し印刷して台所の壁に貼っていました。「親子だな」と感じた瞬間でした。

フラワーアレンジメント教室
小関洋子



リレー随想／ 《第78回》

巨木が見守る まちの歴史

十月初旬、「おらだのまち探訪」の第四回、「まちの文化財（巨木）の巡り」に参加させていただきました。午前中は、小斬の神代力やなど町内の巨木を巡り、午後には朝日町の大沼の浮島や若宮寺鐘楼堂なども訪れるという企画でした。やわらかな秋の日差しの下、みんなで弁当をひらげた松保の大スギの根回りは、参加者十人が両手を広げてやっと届くというものでしたし、樹種こそ違え、どの巨木も、我々人間の一生などが

らすれば気の遠くなるような長い年月、風雪に耐えてきたことを、無言で納得させるものがありました。

この探訪の、貫見から松保を経て朝日町の大暮山への移動中のことです。断水などで町民を苦しめた七月のあの豪雨のつめあとも残っていたからでしょう、車の天井に頭がぶつかるような悪路の中で、町の歴史資料集で目にした山駕籠での移動のことが、ふと思いつきました。

「宝曆の飢饉」より少し後の宝曆九年（一七五九）、柴橋代官所は、当時幕領であった小見村などに、年貢が未納となっている山内の村々の状況を、大谷経由で貫見まで代官所の役人が見分（調査）して廻るので、山駕籠一挺と担ぎ手としての人足三人を出すよう命じています。

駕籠といえば思い浮かべるのは、あの弥次さん、喜多さんの話や広重の浮世絵・東海道五十三次「庄野」などに描かれた駕籠でしょうか。それとも時代劇に登場する大名や幕府要人の乗る駕籠でしょうか。この資料では、山駕籠とあります。山駕籠の使用は、この他にも町内外の資料集などにいくつも見られますが、大名家が乗る上級の駕籠（「乗物」）などに対し、担ぎ棒と丸底の台座、た

けの、駕籠の中でも最も軽量で粗末なものだったようです。

今回我々が車で登り下りした道筋とはやはずれますが、かつて貫見から小清を経て、イロハ（いろは）峠を越え、松保、大暮山を経て大沼に至る山道があったようです。役人はこの山道を逆コースで貫見に向かったと思われませんが、この山駕籠に乗って登り下りしたのでしょうか。人足として駆り出された農民の辛さよりも、山駕籠にしがみつこうように担がれてゆく役人の姿がいささか滑稽で、この一行を、松保の大スギが遠く苦笑いしながら見下ろしている場面を思い描いてしまつたのです。

振り返れば、どの巨木の下にも、まるで母親に抱かれる赤子のように社や御堂が有りましたし、古い年号の刻まれた石塔などもいくつも見られました。時に激しく揺れ動き、時にゆつたりと流れる人の世を見下ろしながら、自分を畏れ敬い、守り続ける人々の祈りや願いを、それぞれの巨木は、その年輪に刻みこんできたのではないのか、そんな思いを新たにした秋の一日でした。

（藤田 庄司 英二）

人口と世帯(前月比)

町の人口 8,999人(-12)
男 4,417人(-4)
女 4,582人(-8)
世帯数 2,919戸(+1)

平成25年12月1日現在

戸籍の まど

10月21日～11月20日受付分

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
6区	秋元傳三郎	(96)
7区	高取信	(90)
十八才	清野啓	(60)
9区	後藤忠治	(85)
4区	齋藤ひさゑ	(83)
藤田	坂野和男	(65)
9区	今野きよ	(97)
1区	小林きぬ子	(84)
13区	鈴木喜一郎	(88)
深沢	菊地タカエ	(81)
小見	伊藤滋雄	(89)
市の沢	鈴木幸子	(74)
7区	秋葉佳信	(76)
11区	公平キクエ	(87)
深沢	菊地傳四郎	(87)

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
6区	中川 琥楓	男	健太・悠
1区	金山 新	男	浩・沙織
富沢	高橋 琉唯	男	聖也・祥子
用渡	渡辺 隼	男	重敏・美奈子

ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名
(9区)	安彦 啓綾
(山辺町)	三吉 雅俊
(深沢)	川村 洋子
(深沢)	菊地 晃一
(12区)	庄司 美由紀
(天童市)	矢作



※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。